

2021 年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」実施要領

学習支援・教育開発センター

【調査目的】

- ・本学学生に適した学びのあり方を検討するために、学生の基本属性や学習状況についての自己評価等のデータを収集、蓄積し、本学学生の特徴を客観的に把握することを目的とする。
- ・収集、蓄積したデータは、学生が本学での正課内外を通じた学びを含む大学生活の結果を検証するために活用する。
- ・過年度に実施した調査結果と今回実施する調査結果を比較することによって、学生の学びの成果を可視化するとともに、更なる改善のための材料を提供する。
- ・回答した学生に対し、後日個別フィードバック情報を提供し、学生がこれまでの自身の学びを自己点検し、今後の学びに主体的に取り組むための契機とする。また、就職活動において、学生が自身の成長実感を説明できるような参考情報・エビデンスとする。

【実施主体】

- ・実際の調査にあたっては各学部の協力を仰ぐが、調査の実施主体は学習支援・教育開発センターとする。

【調査対象】

- ・学部1年次、2年次及び3年次の在学生全員を対象とする。事前に調査対象者の抽出は行わない。

【実施時期】

- ・原則として、11月上旬から3週間程度実施する。

【調査方法】

- ・e-class を利用した WEB アンケート調査とする。
- ・回答は任意とする。

【調査項目設定上の留意事項】

- ・個人を特定できるような調査項目や学力を直接測定するような調査項目は設けない。ただし、個人の変化を時系列に観察するため、また、回答した学生に個別フィードバック情報を提供するため、学生 ID を任意の調査項目として設ける。
- ・回答は基本的に選択式とする。
- ・15分程度で回答できる調査項目数とする。
- ・調査項目は、毎年度調査が必要な項目（定番項目）と、数年に1度の調査で回答傾向を把握する項目および臨時的に調査する項目（可変項目）で構成する。
- ・コロナ禍における学生の状況を把握するために必要な調査項目を可変項目として設ける。

【集計方法】

- ・回収した回答データは、SPSS 等の統計解析ソフトのデータファイル形式に変換する。
- ・各学年で実施した調査について、経年変化を調べる。
- ・学習支援・教育開発センター所属の教学 IR 担当教員を中心に調査結果を分析し、大学全体の傾向を探るとともに、学部毎の特徴も調べる。

【調査結果の管理・運用】

- ・調査結果は、別途定める「学習支援・教育開発センターが所管する学生を対象とする調査の回収データ管理・運用規則」に従って厳格に管理・運用する。

【その他】

- ・調査目的、調査結果を目的外に使用しないこと、個人情報の保護について、WEB 画面に明記して、学生に理解を求める。
- ・回答者に謝礼は渡さない。

以上